

# デルファイ調査

専門家の評価と主張に基づいて、ある問題に関する専門家の見解を統合するための調査。

## デルファイ調査とは何か？

デルファイ法は、アンケート調査と協議を組み合わせた専門家を対象にした調査法です。専門家に特定の問題に関する質問への回答と、ほかの専門家による回答の評価を依頼し、その評価の裏づけも示してもらいます。調査は複数回行います。前回の結果を踏まえ、専門家はほかの専門家による評価と主張を受けて自分の前回の評価を修正することも許容されます。

## なぜ使うのか？

デルファイ法の興味深い特徴は、ある問題に関して、さまざまな主張に基づき、前回の評価と主張の再考を反復しながら統合されたグループ全体の見解がまとまることです。

## いつ使うのか？

デルファイ法は、問題を探求して整理し、問題の最初の分析が必要な段階、プロジェクト初期の問題のフレーミングに有益です。

## どうやって使うのか？

専門家グループを編成した後、デルファイ法は概ね次のステップで進めます。

1. ファシリテーターが議論中の問題を探求するためにオープンクエスション（自由回答の質問）を問います（回答の選択肢は提供しない）。
2. ファシリテーターが問題に関する個々の専門家の見解を集めます。そのために、ファシリテーターはステップ1の回答を要約します（すなわち、定性的な内容分析に従って符号化し、言い換える）。次に、専門家が全回答をどの程度同意できるか評価します。加えて、評価の理由も提供します。
3. ファシリテーターがステップ2の初回評価を再考し、意見の相違を調べます。そのために、ファシリテーターは回答ごとにグループ全体の評価を集計し（平均、最小、最大など）、賛成意見と反対意見を要約します。その後、専門家にグループ全体の評価を伝え、賛否両論を考慮しながら自分の初回評価を再考してもらいます。
4. ファシリテーターがグループ全体の評価を再集計し、デルファイ調査の結果を要約します。結果のまとめには、一般に平均値と専門家の評価の分布を示し、賛否両論も含めます。

## どのように考え方が伝わるのか？

ほかの専門家の見解に照らして自分の評価を再考することによって考え方の相違が埋まります。その過程で、専門家はほかの専門家がなぜ・どのように異なる評価もしくは同じ評価に至ったかを考えることとなります。

### 結果・成果として何が得られるのか？

デルファイ調査の結果は、検討中の問題に関する専門家グループの同意／不同意の要旨と度合いを示します。一般に結果は、平均値と専門家の評価分布、さらに評価に対する賛否両論も加えた形式で示されます。

### 誰が何の役割で参加するのか？

ファシリテーターがデルファイ調査を運営します。ファシリテーターはアンケート調査の設計と定量分析、および定性的な内容分析について基本を理解している必要があります。専門家は、調査に回答し、中間結果を読むことによって参加します。参加を依頼する専門家の種類は問いません。

### 何を準備する必要があるか？

デルファイ法は、調査を実行するファシリテーターにとっても、比較的軽度ながら参加する専門家にとっても時間がかかります。したがって、前もって専門家に複数回の調査に回答し、自分の評価を裏づける必要があることを伝えておくべきです。ファシリテーターの作業負荷は、オープンクエスションの量と定性的な内容分析によって増加します。ファシリテーターは、アンケート作成や調査の定量および定性分析に経験を積んでいなければなりません。また、問題を特定し、アンケートを準備し、関連する専門家を見つける必要があります。

### やらないほうがいい場合

多くの場合、デルファイ法はコンセンサスを見つける目的で使われます。これは適切ではありません。デルファイ法は、同意と不同意を明確にし、それぞれの根拠である賛成意見と反対意見を示すものです。

### もっと知るには？

- Linstone H A, Turoff M 1975. The delphi method. Techniques and Applications. Reading: Addison-Wesley. pp 5-6.
- McDonald D, Bammer G, Deane P 2009. Research Integration Using Dialogue Methods. Canberra: ANU E-Press. pp 41-50.

本 TD ツールボックスは、スイスアカデミー・TD 研究ネットワーク (TD ネット) で制作され、総合地球環境学研究所・知の共創プロジェクトにて日本語に翻訳しました。本リーフレットは、TD ネットの「知識の協働生産のためのツールと手法」シリーズの一部です。すべてのツールと手法はオープンソースで公開されています。

Pohl C 2020. Delphi poll. td-net toolbox profile (14). Swiss Academies of Arts and Sciences: td-net toolbox for co-producing knowledge. [www.transdisciplinarity.ch/toolbox](http://www.transdisciplinarity.ch/toolbox). doi.org/10.5281/zenodo.3716976

(クリスチャン・ポール、大西有子 (訳) 2021 デルファイ調査 総合地球環境学研究所)